



光受寺通信

H.28年9月1日 発行
発行者 光受寺
<http://koujyuji.com/>

日常の何気ない会話の中で、ハットする言葉に出会うことが時々ある。それはその人の人生そのものが純化された言葉の宝石のように思えたりする。先日テレビのある番組で金魚の美しさに魅せられた人の言葉にこんな言葉があった。

「人間のエゴを一身に受けて、その美しさを見せつけている」と。これは改良に改良を重ねられ新しい品種を作り出すことに精を出す人間のエゴを一身に引き受け、今ある自分の精一杯を生きている金魚の美しい姿を言い表したものだと思われる。人間のご都合主義がどうであれ、その与えられた宿命を生きている姿からは、暗さや嘆きは微塵も感じ取ることはできなかったということでもあるのだろう。ただ、「**見せつけている**」というよりは「**見せつけられた**」と受け止めたい言葉ではある。

また、ある番組ではイタリアのベローナで犬と散歩中の老人に話しかけていたが、老人がベローナは「愛の町」だという。あのロミオとジュリエットの舞台でもあることからそういうのだろうが、付け加えて言うに、「この街には富んだ人も、貧しい人もいるが、みんな分をわきまえて人生を楽しんでいるのさ」と、いかにも幸せそうな笑顔で答えてくれていた。

金魚の話にしても、この老人の話にしても深く頷かされる言葉である。みんな同じような生活することに齟齬(あくそく)して、顔を歪めてまで生きている日本人が、どこか悲しく思えてきたことだ。

八月十五日（光受寺）において墨俣町戦没者追悼会が執り行われました。

戦後七十一年目を迎えた今日、遺族の高齢化が進み遺族会存続も危ぶまれるようになってまいりました。

忠魂碑は傷みが目立っようになり、地震の倒壊、護持の問題も浮上してきて已む無く撤去されるようになりそうです。

お墓は残されるようですが、一しひとつ戦争の記憶が忘れられていくような思いにもなりました。時代とともに姿かたちは変わっていくのですが、非戦への思いは決して忘れてはならない 私たちの覚悟」としていかなければならないと思っております。

天無量寿経」といってお経の中に「兵戈無用」「ひょうがもよひ」といふ言葉が出てまいります。武器も軍隊も要らない」といふ事です。これは釈尊の世の祈りを示すもので、殺し合うと言ふことは、人間の最も愚かな行為であると諭されてゐるのです。

法句経の中は

この世において、怨みに報いるに怨みをもてすれば、

こころに怨みは息やむじやがな。

怨みを捨ててこそ息やむ。いはば永遠の真理である。

と教えられております。

「く」なられてしまった多くの方々の願ひも「く」にあるのではないかと思われるようにも。



【報告】

本堂の椅子を十脚、追加新調させていただきました。

春の永代経の折に、椅子席をも少し増やしてほしいとの申し出があり、今回十脚を増やしました。今までの二十脚と合わせ四十脚となりました。門徒会費から出費をさせていただきましたので、よろしく承りたくたすますようにお願いいたします。詳細は門徒総会へ報告させていただきます。

真宗十派の本山へ参詣してみませんか？



寺巡りは十分のゆとりをもつてお出かけください。思いがまま。

真宗には十派があることを多分皆さんはご存じであると思いますが、親鸞聖人の血脉を中心とする 本願寺派(西)『大谷派(東)』。門弟たちによる 高田派』興正派』佛光寺派』木辺派』及び 出雲路派』誠照寺派』二門徒派』由元派』をあわせて真宗十派があります。

聖人は親鸞は弟子一人ももたずさぶらぶら歎異抄 第八条〜と師弟關係を否定され、自分にとつて共に阿彌陀仏の教えに生きる御同朋御同行であると教団を構成するところには否定的でしたが、聖人の教えが広がれば広がるほど諸國に門徒が増えていったのです。聖人の没後、血脉を中心にした本願寺はあくまでも法系伝持を主張して教団の統括を図っていました。それに対し諸國門徒は自立教団的色彩を強めていったのです。このようにゆかりの宗派に分かれていっしょにとつていきました。

さて最近では、信仰上はもちろぬのこと、健康増進、パワースポット巡りなど色々な意味合いのあるお遍路ですが、真宗門徒の皆さんには真宗十派の寺院にはまず参詣されることをおすすめいたします。

- 真宗本願寺派 西本願寺 京都市) 10,227ヶ寺
- 真宗大谷派 真宗本廟 通称東本願寺/京都市) 8,571ヶ寺
- 真宗高田派 専修寺 津市) 627ヶ寺
- 真宗興正派 興正寺 京都市) 513ヶ寺
- 真宗仏光寺派 仏光寺 京都市) 357ヶ寺
- 真宗木辺派 錦織寺 野洲市) 277ヶ寺
- 真宗出雲路派 毫撰寺 越前市) 57ヶ寺
- 真宗誠照寺派 誠照寺 鯖江市) 52ヶ寺
- 真宗三門徒派 専照寺 福井市) 35ヶ寺
- 真宗山元派 證誠寺 鯖江市) 21ヶ寺

※寺院数は平成26年版宗教年鑑によるものです。

それぞれの寺院にはそれぞれの歴史があります。秋の一日にはどこかの本山へ参詣いただき、長い年月にわたってお念仏が私たちに届けられていっしょの有難さを実感していただけたらと思います。

その他関東には二十四輩の寺院もめりましますよ。



お念仏のふる里

「真宗木辺派」 本山錦織寺は、天安年間(八五七〜八五八)比叡山の慈覺大師(円)が創建した天安堂(即ち御堂)に、親鸞聖人が関東から京都に向かう途中に寄寓したことから始ったといわれる。

この天安堂に奉安されている御影は平安時代の親鸞聖人のあと像と、慈安兄弟お守りし慈空のあとを、親鸞聖人の玄孫、存慶上人、その子孫親上人(福徳)が入寺し寺基を固めた。



阿彌陀堂
真宗本願寺
京都府京都市
西本願寺

天壽堂
真宗本願寺
京都府京都市
西本願寺

上記寺院はそれぞれが本山ですが、京都、福井、滋賀、三重の4県にあります。自家用車であれば、一週間あればゆとりをもって参詣ができるのではと思います。

もし最近参詣してきた滋賀県にある真宗木辺派の錦織寺を紹介いたします。

十月の学習会

十月八日(土)午後七時より

法話 座談等

自分を確かめる」



11月の案内

岐阜県仏教界

期日 十一月五日(土) 午後一時三十分〜

場所 本願寺岐阜別院 岐阜市西野町三丁目一番地) 〇五八二六二〇三三三

講師 矢崎 節天氏 講題 みんなちがってみんないっしょ」

受講料 五〇〇円